

教育センター

1 研修事業

教職員の資質と実践的指導力の向上を図ることを目的として、児童生徒の主体性の育成を中心に据えた学校改革をテーマとした研修や一人一人の教育的ニーズに応じた指導についての研修を実施した。従来の講義形式に加え、タブレットを用いたハンズオン形式やワークショップ形式を取り入れた。

専門研修講座

番号	講 座 名	実施回数	受講者数	講 師
1	デジタル・シティズンシップ教育とは	1	184	鳥取県デジタル・シティズンシップエドューケーター 今度珠美
2	自分たちの学校は自分たちでつくる	1	70	NPO 法人カタリバ
3	1秒で答えをつくる力～思考の瞬発力を上げる～	1	70	NSC 講師・漫才作家 本多正識
4	教えから学びへ～子どもの成長にとって一番大切なこと～	1	125	東京大学名誉教授 汐見稔幸
5	子どもたちの主体的な学びの実現に向けて～小中一貫教育の充実～	1	60	高砂市立高砂中学校教諭 長屋光秀/ 高砂市立高砂小学校教諭 中谷健人/ 兵庫教育大学大学院准教授 安藤福光
6	誰もが幸せに思える学校づくり	1	58	元世田谷区立桜丘中学校校長 西郷孝彦
7	スマホ時代の子どもたちのために～三木市の実態調査から～	1	16	兵庫県立大学 竹内和雄
8	気づけば伸ばせる！学習障害～これだけは育ててあげたい生きるチカラ、大人の責務～	1	68	一般社団法人読み書き配慮 菊田史子
9	人権を大切にしたい学級づくりについて	1	57	西脇市立桜丘小学校教諭 藤原嵩史
10	発達障がい児の僕が自己変革できた理由	1	24	帝京大学学生 西川幹之佑
11	読み書きに困難のある子どものサポート入門①	1	21	志染小学校教頭 川原千秋
12	読み書きに困難のある子どものサポート入門②	1	21	志染小学校教頭 川原千秋
13	デジタル・シティズンシップ教育の実践	1	39	鳥取県デジタル・シティズンシップエドューケーター 今度珠美
14	生徒指導提要の改訂を踏まえた学習指導と生徒指導の一体化について	1	31	関西外国語大学教授 新井肇
15	コラボノート活用研修（操作編）	1	15	JR 四国コミュニケーションウェアインストラクター
16	コラボノート活用研修（実践編）	1	12	大阪市立今里小学校 斉田俊平/藤井優美子/金玲佳

17	スカイメニュー活用研修（操作編）	1	9	Sky 株式会社 インストラクター
18	スカイメニュー活用研修（実践編）	1	23	神戸市立若草小学校 主幹教諭 久保田 智子
19	Qubena 活用研修	1	12	株式会社 COMPASS 関野茜
20	三木モデルを意識した授業づくり ワークショップ～国語編～	1	18	三木市教育委員会 指導主事
21	三木モデルを意識した授業づくり ワークショップ～算数・数学編～	1	35	三木市教育委員会 指導主事
22	三木モデルを意識した授業づくり ワークショップ～体育編～	1	13	三木市教育委員会 指導主事
23	三木モデルを意識した授業づくり ワークショップ～算数・数学編～	1	21	三木市教育委員会 指導主事
24	三木モデルを意識した授業づくり ワークショップ①	1	3	三木市教育委員会 指導主事
25	三木モデルを意識した授業づくり ワークショップ②	1	3	三木市教育委員会 指導主事
26	三木モデルを意識した授業づくり ワークショップ③	1	2	三木市教育委員会 指導主事
27	三木モデルを意識した授業づくり ワークショップ④	1	2	三木市教育委員会 指導主事
28	三木モデルを意識した授業づくり ワークショップ⑤	1	6	三木市教育委員会 指導主事

2 調査・研究事業

教職員の資質向上及び本市教育の一層の振興に資することを目的として、教育センター研究グループ制度を実施し、研究員による研究の成果発表会を開催した。研究のまとめはクラウド上に保存し、教職員は閲覧できる。

三木市立教育センター教育研究事業

番号	研究部門	研究テーマ	研究人数
1	教科教育	自由進度学習を取り入れた教科学習 ～個別最適で協働的な学習に取り組むために～	7
2	特別支援教育	三木市の通級による指導の現状と今後の課題 ～学校生活支援教員への聞き取り調査から～	5
3	特別支援教育	「やりたい」「できた」がつながる学びの場づくり ～心と身体の安定・自己表出・かかわり合いを軸に～	6
4	幼児教育・保育	乳幼児の内面を育てる「身振り表現」	7
5	その他 (小中一貫教育)	小中一貫教育のさらなる推進・充実に向けた実践事例について ～市内中学校区の間組を通して～	6
6	その他 (探究学習)	探究の共創 ～“みらい”を創る～ 生活科の実践	12

7	その他 (探究学習)	探究の共創 ～“みらい”を創る～ 総合的な学習の時間の実践	12
---	---------------	-------------------------------	----

3 教育相談事業

不登校やひきこもり、こころの悩み、学校生活や学習上の支援に係る相談等を行った。

また、教職員の教科等の指導方法や生徒指導、情報教育、ICT活用等について日々の悩みや疑問を解決するために支援、助言を行った。

(1) 教育一般相談

相 談 内 容		電 話		面 接		合 計
		教 員	本 人 保護者等	教 員	本 人 保護者等	
教育 相談	不 登 校	0	3	53	71	127
	進 路 ・ 学 習 等	4	21	75	350	450
	計	4	24	128	421	577
教育 指導 研修	教科等の指導方法	0	—	0	—	0
	生 徒 指 導	0	—	0	—	0
	ICTを活用した学習指導・ICTトラブル	1,440	11	62	2	1,515
	研 究 推 進	0	—	0	—	0
	進 路 ・ 学 習 等	0	—	0	—	0
	計	1,440	11	62	2	1,515
合 計		1,444	35	190	423	2,092

(2) 「ヤングテレホン三木」(青少年悩みの相談室)

内 容 別		電話相談	面談相談	合 計
相 談 内 容	1 いじめ	0	0	0
	2 不登校	34	126	160
	3 学業・進路	2	2	4
	4 友人関係	2	0	2
	5 家庭・子育て	1	0	1
	6 心身の健康・保健	17	16	33
	7 発達障害等	2	38	40
	8 非行・不良行為	0	0	0
	9 暴力行為	0	33	33
	10 虐待	0	0	0
	11 体罰	0	0	0
	12 学校・教職員との関係	1	1	2
	13 その他	5	0	5
相談内容 合計		64	216	280
相 談 者	小 学 生	0	58	58
	中 学 生	0	24	24
	高 校 生	1	37	38
	教 師	0	0	0
	保 護 者	47	86	133
	そ の 他	16	11	27
相談者 合計		64	216	280

(3) 発達教育相談

医師による相談を計 10 回、延べ 30 人の相談を受けた。

4 不登校問題対策事業

不登校児童生徒へ個に応じた対応を進めるとともに、学校や関係機関と連携を深め、部分登校や別室指導などの学校復帰や将来的な社会参加、自己実現につなげられるよう、みっきいルームの運

営を行った。

適応教室事業

開 設 場 所	三木市立教育センター				
指 導 日	月曜日から金曜日まで 週当たり 5 日				
指 導 時 間	午前 9 時から午後 2 時まで				
通級児童生徒数	小学生	8 人	原籍校復帰児童生徒数	完全復帰	3 人
	中学生	10 人		部分復帰	6 人
体 験 学 習	7 回				
関 係 者 連 絡 会	7 回実施				

5 生涯学習事業

ICT 活用個別相談会をトライやる・ウィークと連動して実施し、市民ニーズに対応するとともに、子どもの世代間交流体験の充実を図った。また、デジタルアートの可能性を広げるとともに、作品の発表の場を与えることにより、とりわけ子どもの才能を伸ばすために CG アートコンテストを開催した。

(1) 市民講座

講座名	講座内容	回数	受講人数	講師
ICT 活用個別相談会	スマホやタブレットを日常生活に活用しよう	2	4	教育センター職員

(2) 三木市 CG アートコンテスト作品展示・表彰式

課題テーマ 「三木市制 70 周年を PR しよう」

応募作品 315 点

作品展示 令和 5 年 12 月 4 日～12 月 25 日

表彰式 令和 5 年 12 月 16 日 於：教育センター 大研修室

6 施設利用状況

(1) 使用部屋別

施設名	回数	割合 (%)	人数	割合 (%)
大研修室	329	13	11,345	36
中研修室	284	11	4,467	14
セミナー室	492	19	3,887	12
和室	110	4	651	2
ICT 教育研修室 ビデオ編集室	3	1	27	1
ギャラリー・ライブラリー・学習コーナー	407	16	8,776	28
相談室	709	28	1,418	4
みっきいルーム	196	8	1,093	3
合 計	2,530	100	31,664	100

(2) 使用関係別

項目	回数	割合 (%)	人数	割合 (%)
----	----	--------	----	--------

主催事業	研修事業	61	2	1,403	4
	相談事業	709	28	1,418	4
	不登校対策事業	196	8	1,093	3
貸館事業	学校教育関係	90	4	1,489	5
	社会教育関係	164	6	2,516	8
	市行政関係	583	23	10,635	34
	公共の目的	192	8	2,170	7
	その他一般	535	21	10,940	35
合 計		2,530	100	31,664	100

(3) 中規模改修工事

公共施設再配置計画に合わせた中規模改修を行い、利用者の安全性、利便性を高めた。

名 称	工事内容	契約金額	工 期	請負業者
市立教育センター・児童センター改修工事	・外壁改修工事 ・防水改修工事 ・内外装改修工事 ・LED化工事	教育センター分 71,530,000 円 全体工事費 95,920,000 円	R5. 6. 30 ～ R5. 12. 28	(株)ミック